

令和元年度景況調査報告

令和元年 10 月

長久手市商工会

令和元年度景況調査報告

・調査概要

- (1) 調査期間 令和元年6月26日(水)から令和元年8月30日(金)
 (2) 調査方法 郵送によるアンケート調査
 (3) 調査対象 市内100事業所に郵送 38事業所から回答
 (製造業6、建設業10、卸・小売業4、飲食業1、サービス業17)
 (4) 調査項目 平成30年(実績)、令和元年(見込)の業況・売上などの状況判断、
 支援内容の要望等

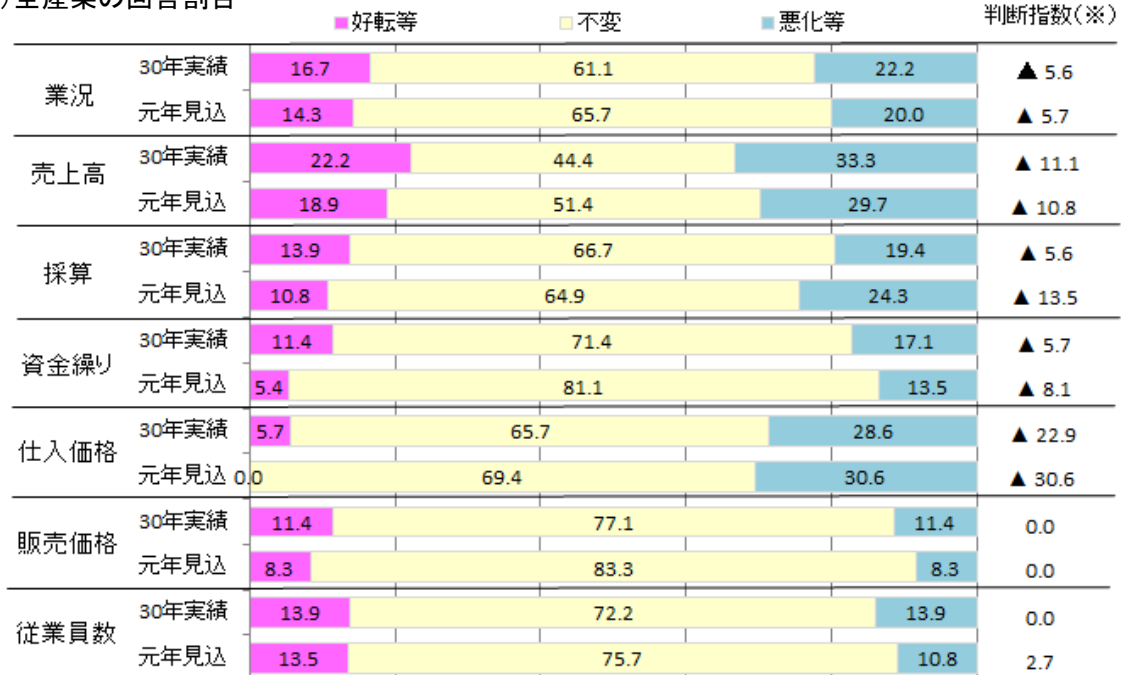
1. 産業別判断指数

(1) 平成30年実績及び令和元年の見込み(ともに前年比)

	業況 (好転割合-悪化割合)		売上高 (増加割合-減少割合)		採算 (好転割合-悪化割合)		資金繰り (好転割合-悪化割合)		仕入価格 (低下割合-上昇割合)		販売価格 (上昇割合-低下割合)		従業員数 (増加割合-減少割合)	
	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込	30年実績	元年見込
全体	▲5.6	▲5.7	▲11.1	▲10.8	▲5.6	▲13.5	▲5.7	▲8.1	▲22.9	▲30.6	0.0	0.0	0.0	2.7
製造業	0.0	▲16.7	0.0	▲33.3	▲16.7	▲16.7	16.7	▲16.7	▲33.3	▲33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	11.1	▲37.5	▲11.1	▲50.0	0.0	▲30.0	0.0	▲10.0	▲33.3	▲20.0	0.0	0.0	▲22.2	0.0
卸・小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲25.0	0.0	▲50.0	▲33.3	▲25.0	▲33.3	▲25.0	▲33.3	25.0	0.0
飲食業	0.0	100.0	▲100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	▲18.8	5.9	▲12.5	11.8	0.0	▲11.8	▲6.7	0.0	▲20.0	▲37.5	0.0	6.3	6.3	5.9

※「平成30年実績」は平成30年10月から令和元年8月の状況、「令和元年見込」は令和元年9月から令和2年8月の見込み(ともに前年比)。
 ※上記の指数は、各項目についての状況の判断を示す。

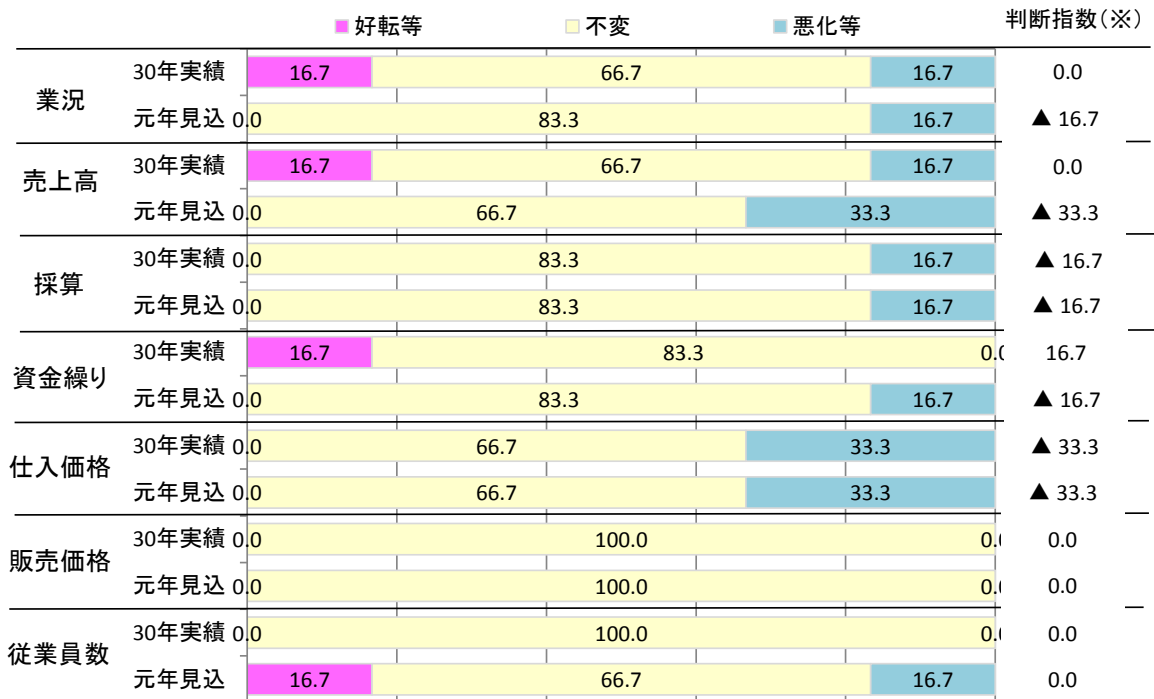
(2) 全産業の回答割合



(※)判断指数=「好転等」回答割合-「悪化等」回答割合

- ・市内企業の業況判断指数(前年比)は、平成30年実績は全産業で▲5.6、令和元年見込では▲5.7と、「悪化等」超が続く見込み。
- ・項目別では、「売上高」「採算」「資金繰り」「仕入価格」が、平成30年実績で「悪化等」超となった。
- ・上記項目については、令和元年見込も「悪化等」超が続く見込みである。

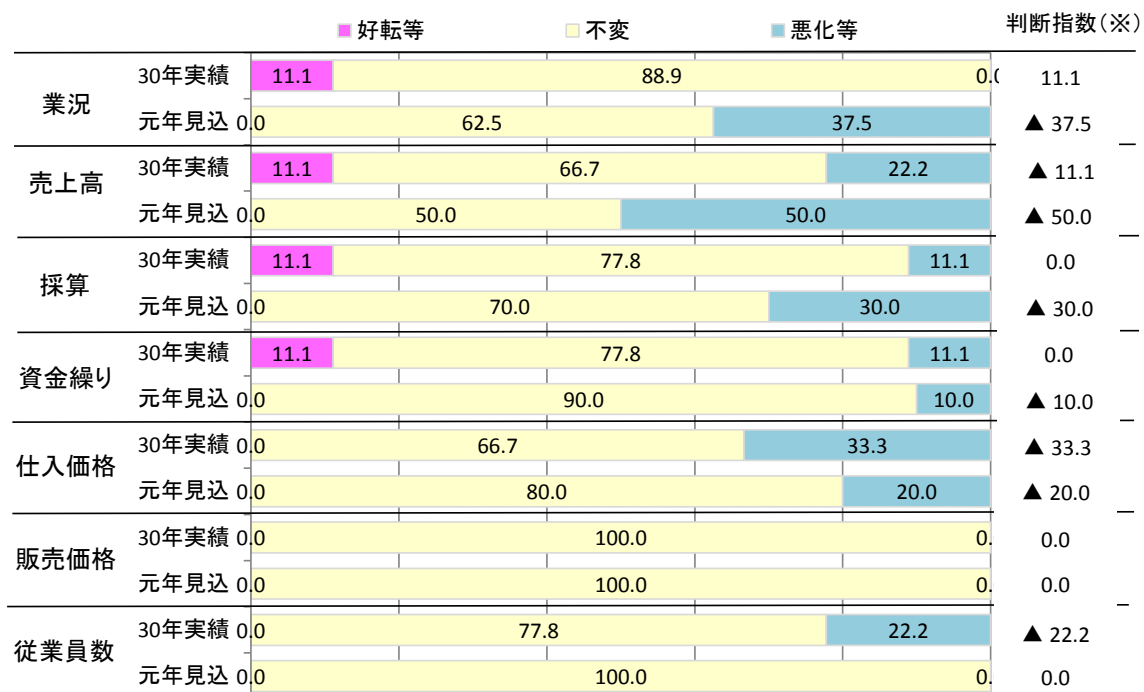
【 製造業 】



(※)判断指数＝「好転等」回答割合－「悪化等」回答割合

- ・ 製造業の業況判断指数は平成 30 年実績 0.0、令和元年見込▲16.7 と「悪化」超となる見込み。
- ・ 項目別では「売上高」「販売価格」「従業員数」の平成 30 年実績は 0.0。各項目で「不変」との回答が目立つ。
- ・ 令和元年見込では「売上高」「採算」「資金繰り」「資金繰り」で「悪化等」超となる見込み。

【 建設業 】



(※) 判断指数 = 「好転等」回答割合 - 「悪化等」回答割合

- ・建設業の業況判断指数は平成30年実績は11.1、令和元年見込は▲37.5と、大幅な「悪化等」超となる見込み。
- ・項目別では、「仕入価格」「従業員数」で「悪化等」超幅は縮小するが、「売上高」「採算」「資金繰り」では「悪化等」超が拡大する見込みである。
- ・「販売価格」は0.0で変わらず。

【 卸・小売業 】

		■ 好転等	■ 不変	■ 悪化等	判断指数(※)
業況	30年実績	25.0	50.0	25.0	0.0
	元年見込	0.0	100.0	0.0	0.0
売上高	30年実績	25.0	50.0	25.0	0.0
	元年見込	0.0	100.0	0.0	0.0
採算	30年実績	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
	元年見込	0.0	100.0	0.0	0.0
資金繰り	30年実績	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0
	元年見込	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
仕入価格	30年実績	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
	元年見込	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
販売価格	30年実績	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
	元年見込	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
従業員数	30年実績	25.0	75.0	0.0	25.0
	元年見込	0.0	100.0	0.0	0.0

(※)判断指数=「好転等」回答割合-「悪化等」回答割合

- ・卸・小売業の業況判断指数は平成30年実績、令和元年見込とも0.0となる見込み。
- ・項目別では「売上高」は平成30年実績、令和元年見込とも0.0となる見込み。
- ・「資金繰り」は「悪化等」超割合は低下するものの、令和元年見込も▲33.3と大幅な「悪化」超を見込んでいる。
- ・「仕入価格」「販売価格」も、「悪化等」超が続く見込み。

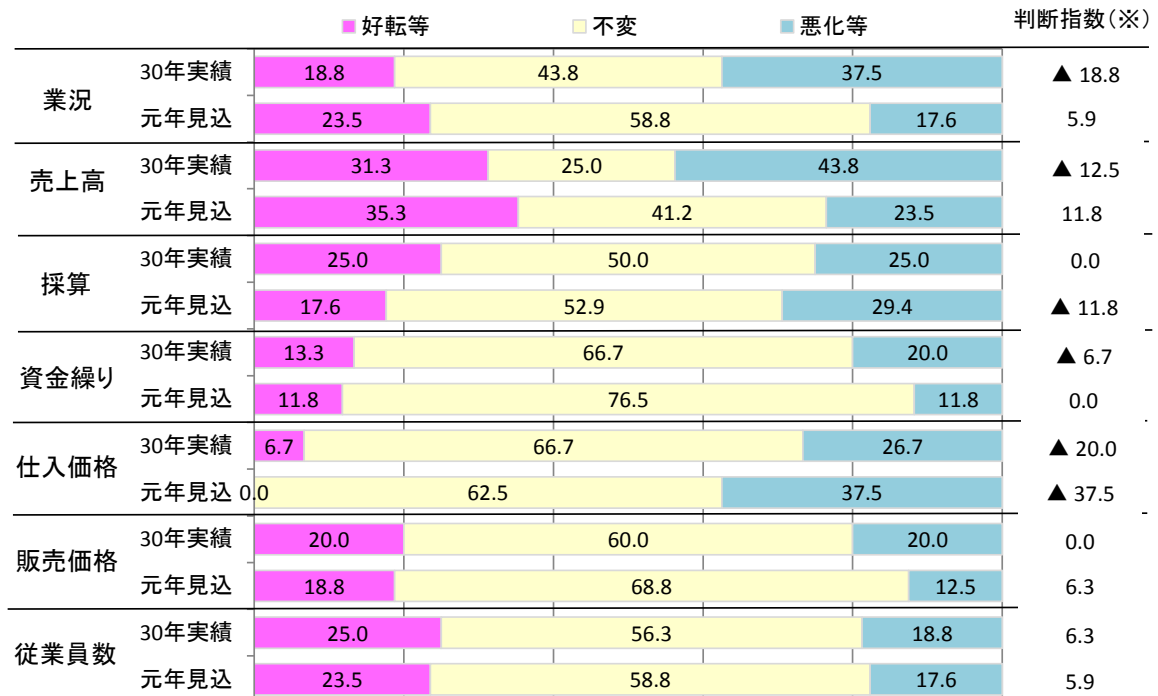
【 飲食業 】



(※)判断指数＝「好転等」回答割合－「悪化等」回答割合

- ・ 飲食業の業況判断指数は平成 30 年実績 0.0、令和元年見込 100.0 となる見込み。
- ・ 項目別では「資金繰り」「従業員数」は平成 30 年実績、令和元年見込とも 0.0 となる見込み。
- ・ 令和元年見込では、「売上高」「採算」において、「好転等」超となる見込み。

【 サービス業 】



(※)判断指数=「好転等」回答割合-「悪化等」回答割合

- ・ サービス業の業況判断指数は平成 30 年実績▲18.8、令和元年見込 5.9 と「好転」超となる見込み。
- ・ 項目別では、「売上高」が「悪化等」超から「好転等」超へと転じる見込み。
- ・ 「従業員数」では、引き続き「好転等」超を見込む見込み。
- ・ 「採算」「仕入価格」は「悪化等」超となる見込み。

2. 商工会に求める支援内容（複数回答）

商工会に求める支援内容を尋ねたところ、全体では「経理や記帳に関する支援（51.4%）」が最も高く、次いで「税務申告等の支援（48.6%）」「中小企業施策や補助金等に関する情報提供及び活用支援（40.5%）」が続いた。

業種別に見ると、「製造業」では「中小企業施策や補助金等に関する情報提供及び活用支援」、「建設業」では「経理や記帳に関する支援」「税務申告等の支援」、「卸・小売業」では「経理や記帳に関する支援」、「サービス業」では「税務申告等の支援」「経理や記帳に関する支援」「中小企業施策や補助金等に関する情報提供及び活用支援」といった要望が多く見られた。

度数(%)		業種					
		合計	製造業	建設業	卸・小売業	飲食業	サービス業
3.商工会に求める支援内容	全体	37(100.0)	6(100.0)	9(100.0)	4(100.0)	1(100.0)	17(100.0)
	巡回相談	2(5.4)	-(-)	-(-)	1(25.0)	-(-)	1(5.9)
	円滑な資金調達のための支援	6(16.2)	2(33.3)	-(-)	2(50.0)	-(-)	2(11.8)
	経理や記帳に関する支援	19(51.4)	1(16.7)	7(77.8)	4(100.0)	-(-)	7(41.2)
	税務申告等の支援	18(48.6)	1(16.7)	6(66.7)	2(50.0)	-(-)	9(52.9)
	企業間交流の支援	4(10.8)	1(16.7)	-(-)	-(-)	-(-)	3(17.6)
	後継者育成、事業承継等の支援	2(5.4)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	2(11.8)
	新分野進出・新商品開発等の支援	3(8.1)	1(16.7)	-(-)	-(-)	-(-)	2(11.8)
	技術サービス、生産性向上、現場改善等の支援	5(13.5)	2(33.3)	1(11.1)	-(-)	-(-)	2(11.8)
	経営分析、市場分析や経営計画策定等の支援	5(13.5)	-(-)	1(11.1)	-(-)	-(-)	4(23.5)
	専門家による個別支援、専門家への橋渡し	3(8.1)	1(16.7)	-(-)	-(-)	-(-)	2(11.8)
	IT化やインターネット活用の支援	2(5.4)	-(-)	1(11.1)	1(25.0)	-(-)	-(-)
	中小企業施策や補助金等に関する情報提供及び活用支援	15(40.5)	4(66.7)	1(11.1)	2(50.0)	1(100.0)	7(41.2)
	人材育成の支援	4(10.8)	2(33.3)	1(11.1)	-(-)	-(-)	1(5.9)
	経営講習会やセミナー等の開催	4(10.8)	-(-)	1(11.1)	-(-)	-(-)	3(17.6)
	各種共済制度のあっせん	1(2.7)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	1(5.9)
	その他	1(2.7)	-(-)	1(11.1)	-(-)	-(-)	-(-)

以上

